

# 令和4年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:21-5

担当部局・担当課名:商工労働部 商工企画課

事業名	大学発シーズ加速化事業	評価結果	一部改善
-----	-------------	------	------

## 事業レビューにおいて発言のあった主な意見

### 【委員の意見】

- ・「2つの県内大学の技術シーズ」と「県内企業のニーズ」をマッチングさせるのは、非常に困難と思われる。
- ・100万円の単年度の少額研究事業の成果目標として、「商品化・事業化」や「特許出願」は設定が高すぎる。
- ・委託金額が不足しているように思われ、研究資金が足りているのか懸念である。
- ・特定の企業や大学研究者の研究資金にならないよう、公平に周知の上、採択してほしい。

### 【県民評価者の意見】

- ・県外事業者を含む研究体制や金額、実施期間を柔軟に対応しても良いのではないか。

## 県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数	16
---------	----

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (やめる)	役割分担 見直し (国または市町村 がやる)	抜本的改善 (県内の大学・企業という 要件を見直す又は過去の 検証をした上で事業を続 けるか判断)	一部改善 (継続するがフォ ローアップや成果 指標の見直しが必 要)	現行どおり ・拡充 (今までどおりやる又 は増額)
	0	0	5	8	3
県民評価者の 主な評価 シート コメント	評価結果と 同じ評価	<b>【一部改善】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大学の技術シーズ」と「企業のニーズ」をマッチングさせる支援が必要。</li> <li>・「県内」の制限を柔軟に対応してはどうか。</li> <li>・研究費と研究期間を見直してはどうか。</li> <li>・県内大学と県内企業でマッチングできれば、相乗効果もあり良いと思うが、効果的にそれらをマッチングする仕組みが必要。</li> <li>・年々、県内大学と県内企業が繋がってきており、継続が必要。</li> <li>・事業PRとイベント等を通じた、マッチング支援が重要。</li> </ul>			
	上記以外	<b>【抜本的改善】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大学の技術シーズ」と「企業のニーズ」をマッチングさせる支援が必要。</li> <li>・「県内大学」や「県内企業」の「県内」の条件を無くしてはどうか。</li> <li>・「大学の研究力」と「企業の技術力」で、事業ターゲットを絞るべき。</li> </ul> <b>【現行どおり・拡充】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「県内」の要件を見直してはどうか。</li> <li>・少ない件数ながらも成果がでている。</li> <li>・マッチング支援やフォローアップも必要。</li> </ul>			

<b>事業名</b>	大学発シーズ加速化事業	<b>評価結果</b>	一部改善
------------	-------------	-------------	------

【参考】委員による評価				委員総数	4
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (やめる)	役割分担 見直し (国または市町村 がやる)	抜本的改善 (県内の大学・企業という 要件を見直す又は過去の 検証をした上で事業を 続けるか判断)	一部改善 (継続するがフォ ローアップや成果 指標の見直しが必 要)	現行どおり ・拡充 (今までどおりやる又 は増額)
	0	0	3	1	0
シ ー ト の コ 主 メ な ン 評 ト 価	<p><b>【抜本的改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットを大学か企業か選定した上で、新たな事業を考えるべき。</li> <li>・県内大学の要件を廃止して、県内企業のニーズを県外大学とマッチング・研究する事業に転換した方が良いのではないか。県内同士を維持するのであれば、マッチングの提供が必要。</li> <li>・事業内容に照らし合わせて、成果指標の見直しが必要。</li> <li>・委託金額と件数の見直しが必要。</li> <li>・過去の採択課題について、検証が必要。</li> </ul> <p><b>【一部改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学と企業の情報連携を強く進めていけば、ニーズは相当ある。マッチングの仕組みを考えるべき。</li> <li>・この事業の情報発信が、公平に企業や大学にされておらず、改善が必要。</li> <li>・事業ターゲットは、大学か、企業か。</li> </ul>				

**県の対応**

対応方針	一部改善	事業内容見直し			
	○単年度で終了しない研究開発は、2か年まで実施期間を延長 ○県内企業に対して広く周知するため、公募方法を改善し、各大学の事務局への案内だけでなく県HPIにも掲載				
R5当初予算 での対応	R5当初予算(案)	5,000(千円)	R4当初予算	5,000(千円)	増減額 なし
	増減理由	-			

<b>事業名</b>	大学発シーズ加速化事業	<b>評価結果</b>	一部改善
------------	-------------	-------------	------

当初予算編成プロセスの見える化

令和5年度当初予算	要求状況	要求額	5,000(千円)	前年度予算額	5,000(千円)	
		事業の目的	大学が有する技術シーズを活用した企業との共同研究課題を支援し、県内企業への技術移転を促進し、新たな製品開発を創出するもの			
		事業内容	大学がもつ技術シーズを活用し、企業における製品事業化からバックキャスト型で設定された大学・企業の共同研究テーマに対して支援する。 【上限100万円(最長2ヵ年)×5件程度(支援対象:富山大学、県立大学)】			
		積算内訳	委託費:1,000千円×5件			
	予算編成過程における議論		レビューにおける意見を踏まえ、単年度では終了しない研究開発に対し支援期間を2年とするなど、適切に見直しが行われている。			
	最終的な予算案	予算額	5,000(千円)	/		
要求時点からの変更点		変更なし				